

参加費無料

第7回

気楽におしゃべり・楽しく交流

親子きつおん交流会 ~幼児の部~

日時 2023年 7月15日(土) 10:00~12:00 (受付 9:30~)

場所 ユニコムプラザさがみはら 会場参加：定員100名、zoom参加：定員100名 (zoomは開会の挨拶~講演の質疑応答までとなります)

対象 吃音のある2~6歳(就学前まで)のお子さんと、その保護者 ※申し込みなど詳細は裏面をご覧ください

★プログラム★

【挨拶】よこはま言友会、吃音のある子どもと歩む会

【みんなで遊ぼう】手遊び歌など

【講演】

・講師：酒井奈緒美氏(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

・テーマ：お子さんと保護者が楽になる会話のしかた

・内容：ことばの力がぐんぐんと伸びる時期のお子さんが、ことばの一部を繰り返したり伸ばしたり、あるいは詰まったりしながら話している時、大人はどのように対応してあげるとよいでしょうか。大人も子どもも楽におしゃべりができるような会話のしかたを吃音の理論に基づきご紹介いたします。【質疑応答】

~ 休憩 ~

【小グループ懇談】小グループに分かれて交流しましょう

【お楽しみ】恒例「うまい棒」つかみ取り!

研究協力をお願い (希望者のみ・謝礼有り)

目的：子どもの発達と会話の様子から吃音のメカニズムを解明する

対象：吃音のある2~6歳(就学前まで)のお子さん

協力依頼内容：

1. 言語・発話検査への協力(お子さんに20分程度の実施)
2. 気質の質問紙への回答(保護者の方に5分程度の実施)
3. 親子の会話場面の録音と質問紙への回答 (お子さんと保護者が自宅で会話している場面を録音)

*1,2は交流会の最中に会場にて研究担当者が実施します。

*3は交流会前にCレコーダーをご自宅に郵送しますので、会話場面を録音して交流会当日にお持ちください。講演以後にも録音をお願いします。

*詳細は交流会申込サイトにて説明しております。申込の際に研究協力の可否をご回答ください。場合によっては、これらの一部のみご協力いただくこともあります。

本研究は公益財団法人ユニベール財団研究助成2022(令和4年11月~令和5年10月)研究課題名「心理・発達面を中心に見た幼児吃音の改善メカニズムの探索：子どものコミュニケーションと社会参加のための新たな支援に向けて」の助成を受けています。

私たちが担当します!



【研究代表者】 酒井奈緒美
国立障害者リハビリテーションセンター一研究所・病院にて、子どもから大人までを対象に、吃音の評価法・支援法の研究や臨床を行っています。言語聴覚士・博士(学術)



【研究分担者】 越智景子
京都大学大学院にて特定助教として、話し言葉の科学と福祉工学の観点からコミュニケーションや吃音の研究を行っています。博士(情報理工学)



【研究分担者】 角田航平
国立障害者リハビリテーションセンター一病院にて小児を対象に吃音の臨床を行っています。発達心理学的なメカニズムの解明にも取り組んでいます。認定言語聴覚士(吃音・小児構音障害)

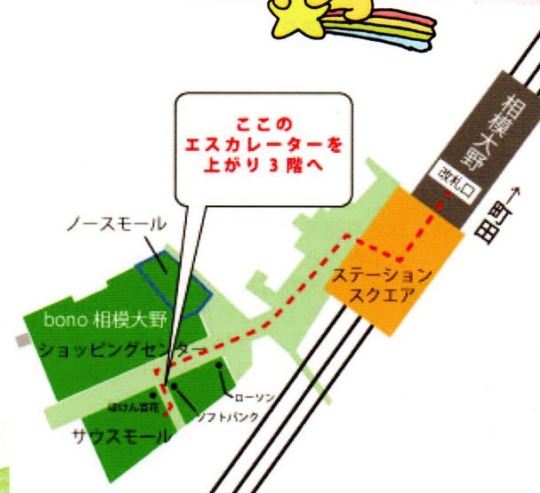
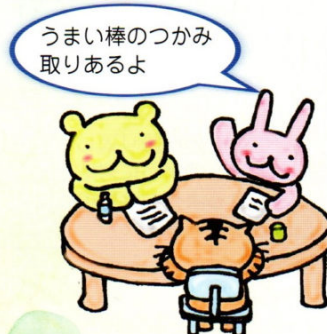
親子きつおん交流会は吃音のお子さんとその保護者を対象にした気軽に参加できるイベントです。吃音のことをおしゃべりしたり、楽しく遊んだり気楽に仲間と分かち合しましょう。また学校関係者や言語聴覚士、言語聴覚士を目指す学生など、吃音に関心のある方ならご自由にご参加いただけます。

5月1日より
申し込み受付

参加希望の方はよこはま言友会のホームページよりお申し込みください。会場参加かzoom参加かどちらかをお選びください。zoomは開会の挨拶から講演の質疑応答までとなります。予めご了承願います。定員となり次第締め切りとさせていただきます。

★会場アクセス★

ユニコムプラザさがみはら セミナールーム1・2
相模原市南区相模大野3丁目3-2
bono相模大野サウスモール3階
TEL042-701-4370
小田急相模大野駅 北口から徒歩2分
近隣に市営有料駐車場有り



主催：NPO法人よこはま言友会

共催：吃音のある子どもと歩む会

後援：国立障害者リハビリテーションセンター、神奈川県教育委員会、相模原市教育委員会、全国言友会連絡協議会

よこはま言友会は「第16回かながわ子ども・子育て支援大賞 草の根賞」を受賞しました

※同日午後から『親子きつおん交流会 学齢期の部(小学生~高校生)』も同会場にて開催します
詳しくは「よこはま言友会HP」をご覧ください

▼お問い合わせ・お申し込み

NPO法人よこはま言友会

yokohama-genyukai.wix.com/index

よこはま言友会

来てね
待ってるよ

